



## 2019年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年1月15日

上場会社名 株式会社Gunosy 上場取引所 東  
 コード番号 6047 URL https://gunosy.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者 (氏名) 竹谷 祐哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 間庭 裕喜 (TEL) (03)6455-4560  
 四半期報告書提出予定日 2019年1月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年5月期第2四半期の連結業績（2018年6月1日～2018年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	7,541	47.3	1,524	64.7	1,520	64.4	1,517	154.4
2018年5月期第2四半期	5,120	40.7	925	48.9	925	49.1	596	9.6

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 1,507百万円 (150.9%) 2018年5月期第2四半期 601百万円 (7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	64.90	62.90
2018年5月期第2四半期	26.33	24.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	13,482	10,372	76.2
2018年5月期	11,555	8,719	75.1

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 10,270百万円 2018年5月期 8,679百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年5月期	—	0.00	—	—	—
2019年5月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年5月期の配当予測につきましては、現在未定であります。

### 3. 2019年5月期の連結業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,462	29.1	2,722	40.4	2,722	40.4	2,159	331.0	92.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－  
 （注）特定子会社の異動には該当しませんが、株式会社VIDPOOL及び株式会社LayerXを第1四半期連結会計期間より、Gunosy Capital Pte. Ltd.を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年5月期2Q	23,637,200株	2018年5月期	23,376,600株
② 期末自己株式数	2019年5月期2Q	185,500株	2018年5月期	185,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年5月期2Q	23,377,748株	2018年5月期2Q	22,651,582株

（注）自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式（2018年5月期：185,500株、2019年5月期2Q：185,500株）を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（参考）個別業績の概要

1. 2019年5月期第2四半期の個別業績（2018年6月1日～2018年11月30日）

個別経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2019年5月期第2四半期	6,750	38.0	1,272	36.9	1,338	112.1	57.26
2018年5月期第2四半期	4,892	38.4	929	39.8	630	6.7	27.86

2. 2019年5月期の個別業績予想（2018年6月1日～2019年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,710	19.8	2,256	20.4	1,903	259.1	81.30

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループをとりまく経営環境につきましては、国内におけるスマートフォンの保有者の割合が2017年に60.9%と前年比4.1ポイント増加するなど、スマートフォンは引き続き急速に普及しており（総務省調べ）、また、2017年の広告費は6兆3,907億円と6年連続で成長を続けております。とりわけインターネット広告費につきましては前年比115.2%の1兆5,094億円と、広告費全体の成長を牽引する成長となりました（株式会社電通調べ）。

このような状況の下、当社グループは、当第2四半期連結会計期間において、「グノシー」のパーティカルアプリ切り出し第一弾として、スポーツ情報配信に特化した「グノスポ」のAndroid版アプリについて先行配信を開始いたしました。また、既存サービスのアクティブユーザー数の向上のため、第1四半期連結会計期間に追加した「グノシー」におけるクーポンタブのクーポン内容拡充など、新たなコンテンツや施策の展開を行ってまいりました。さらに、各サービスのユーザービリティを高めるべく、引き続き日々ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの改善を行ってまいります。加えて、広告主の新たなニーズに応えるべく新たな商品開発にも注力いたしました。

また、総合インターネット企業を目指し、「メディア」「広告」「ブロックチェーン」「投資」の4つの領域を事業ドメインとし新たに定義し、それに伴い、株式会社VIDPOOL、株式会社LayerX及びシンガポールにGunosy Capital Pte. Ltd. を設立いたしました。

収益面に関しては、上記の施策等によるアクティブユーザー数の順調な積み上がりにより、当第2四半期連結累計期間において、Gunosy Adsに係る売上高を3,829百万円計上いたしました。また、アドネットワークに係る売上高が引き続き順調に伸長し、当第2四半期連結累計期間で2,882百万円を計上いたしました。さらに、連結子会社である株式会社ゲームエイト及び株式会社digwellの業績が引き続き順調に伸長し、とりわけ株式会社ゲームエイトが連結業績に大きく寄与いたしました。その他、当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益391百万円を計上いたしました。

費用面に関しては、引き続きユーザーの獲得のためテレビCM等のプロモーション施策を積極的に展開し広告宣伝費1,032百万円を計上したほか、アドネットワーク売上高の伸長に伴い、アドネットワーク売上原価が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高7,541百万円（前年同四半期比47.3%増）、経常利益1,520百万円（前年同四半期比64.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,517百万円（前年同四半期比154.4%増）となりました。

なお、「グノシー」及び「ニュースパス」「LUCRA（ルクラ）」合計の国内累計DL数は当第2四半期連結会計期間末において3,926万DLとなり、前連結会計年度末比で572万DLの増加となりました。

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,927百万円増加し、13,482百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比1,058百万円の増加）、売掛金の増加（前連結会計年度末比139百万円の増加）、流動資産のその他の増加（前連結会計年度末比700百万円の増加）、のれんの減少（前連結会計年度末比69百万円の減少）、投資有価証券の増加（前連結会計年度末比84百万円の増加）であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べて274百万円増加し、3,110百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（前連結会計年度末比332百万円の増加）、流動負債のその他の増加（前連結会計年度末比98百万円の増加）、未払法人税等の減少（前連結会計年度末比160百万円の減少）であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて1,652百万円増加し、10,372百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1,517百万円の増加）であります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べて1,058百万円増加し、9,826百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は、1,061百万円（前年同四半期は915百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1,912百万円の計上、投資有価証券売却益391百万円の計上、仕入債務の増加332百万円、法人税等の支払額538百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、131百万円（前年同四半期は227百万円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出112百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動により獲得した資金は、129百万円（前年同四半期は107百万円の収入）となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入70百万円、非支配株主からの払込みによる収入58百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年10月12日に公表いたしました2019年5月期通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想の前提についての、当第2四半期連結累計期間における状況と、今後の見込みにつきましては以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、1DL当たりの獲得費用、新規DL数について、それぞれ順調に推移いたしました。

売上高につきましては、Gunosy Adsに係る売上高、アドネットワークに係る売上高、連結子会社に係る売上高について、それぞれ順調に推移いたしました。

費用につきましては、ユーザーの獲得効率が好調であることを受けて、広告宣伝費を引き続き積極的に投下し、1,032百万円を計上いたしました。その他の費用につきましては、概ね計画通りに推移いたしました。

今後につきましては、引き続き既存サービスのユーザー規模拡大を目指すとともに、アクティブユーザー数の増加のための新たなコンテンツの展開及びアルゴリズムの精度向上に努めてまいります。また、収益面に関しましては、広告主のニーズをとらえた商品開発を進めるなど、収益向上を目指してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,767	9,826
売掛金	1,007	1,146
その他	418	1,118
流動資産合計	10,193	12,092
固定資産		
有形固定資産	110	107
無形固定資産		
のれん	422	353
その他	10	18
無形固定資産合計	433	372
投資その他の資産		
投資有価証券	408	493
繰延税金資産	136	146
その他	273	271
投資その他の資産合計	817	911
固定資産合計	1,361	1,390
資産合計	11,555	13,482
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	971	1,304
未払法人税等	629	469
株式給付引当金	31	34
その他	1,196	1,295
流動負債合計	2,830	3,103
固定負債		
株式給付引当金	5	7
固定負債合計	5	7
負債合計	2,835	3,110
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,975	4,011
資本剰余金	3,975	4,011
利益剰余金	930	2,447
自己株式	△199	△199
株主資本合計	8,682	10,270
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	0
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益累計額合計	△2	0
新株予約権	39	55
非支配株主持分	—	46
純資産合計	8,719	10,372
負債純資産合計	11,555	13,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
売上高	5,120	7,541
売上原価	2,263	3,926
売上総利益	2,857	3,615
販売費及び一般管理費	1,932	2,091
営業利益	925	1,524
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	—	0
講演料収入	0	—
助成金収入	—	0
その他	0	0
営業外収益合計	0	1
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産売却損	—	4
株式交付費	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	0	5
経常利益	925	1,520
特別利益		
投資有価証券売却益	—	391
特別利益合計	—	391
税金等調整前四半期純利益	925	1,912
法人税、住民税及び事業税	325	417
法人税等調整額	3	△10
法人税等合計	328	407
四半期純利益	596	1,505
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	596	1,517

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
四半期純利益	596	1,505
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	2
為替換算調整勘定	—	0
その他の包括利益合計	4	2
四半期包括利益	601	1,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	601	1,519
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△11



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	925	1,912
減価償却費	8	11
のれん償却額	69	69
受取利息	△0	△0
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△391
売上債権の増減額 (△は増加)	△203	△139
仕入債務の増減額 (△は減少)	220	332
未払金の増減額 (△は減少)	154	△2
前払費用の増減額 (△は増加)	133	△280
前受金の増減額 (△は減少)	127	133
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	7	3
その他	△265	△50
小計	1,178	1,598
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△263	△538
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>915</b>	<b>1,061</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8	△9
投資有価証券の取得による支出	△217	△112
その他	△1	△9
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△227</b>	<b>△131</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,500	600
短期借入金の返済による支出	△1,500	△600
新株予約権の行使による株式の発行による収入	107	70
非支配株主からの払込みによる収入	—	58
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>107</b>	<b>129</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	795	1,058
現金及び現金同等物の期首残高	6,576	8,767
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,372	9,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)

当社グループは、メディア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

当社グループには、メディア事業以外の重要なセグメントが無いため、セグメント情報の記載を省略しております。